



Mr - F u k u o k a N E W S

ふくおか水救会だより

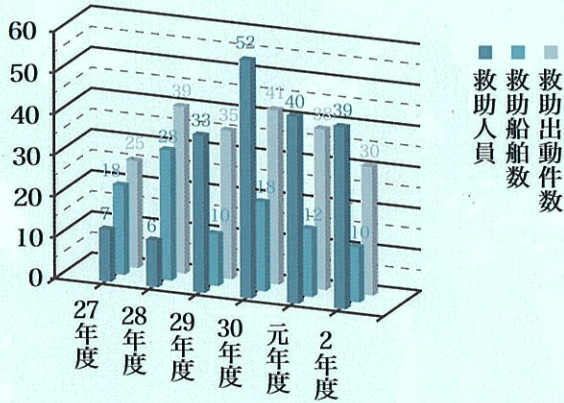
12号





令和2年度、福岡県水難救済会活動報告

救助実績



令和2年度救助出動実績は、出動件数**31**件、救助船舶数**13**船、救助人員**39**名でした。

海の日表彰 (2020年7月29日)



多年にわたり水難救済会のボランティア事業に携わり、水難救済思考の普及活動・救済業務の発展に尽力された等の功績が称えられ受賞されました。

表彰名	所属	表彰者氏名(敬称略)
海上保安庁長官表彰	大岳救難所	竹田 聖也
第七管区海上保安本部長表彰	理事	中西 利之
第七管区海上保安本部長表彰	理事	金丸 晴樹
第七管区海上保安本部長表彰	地島救難所	奥 真司



▲海上保安庁長官表彰



▲海上保安庁長官表彰 集合写真



▲第七管区海上保安本部長表彰



▲第七管区海上保安本部長表彰 集合写真

出動回数功労表彰

表彰名	所属	表彰者氏名(敬称略)	救助出動回数
日本水難救済会会長表彰	大岳救難所	得能 崇司	60回
日本水難救済会会長表彰	野北救難所	塚本 武広	20回
日本水難救済会会長表彰	神湊救難所	永島 悠喜	20回

参加会議・式典など

開催日	会議名など
4月7日	令和元年度決算監事監査
4月17日	第1回理事会
5月13日	第19回定時総会
6月4日	日本水難救済会第1回理事会(書面決議)
6月23日	日本水難救済会第128回定時総会
7月29日	「海の日」表彰式典

開催日	会議名など
8月18日～	青い羽根募金協力依頼
10月20日	日本水難救済会第2回理事会
12月4日	第2回理事会
3月15日	第3回理事会
3月18日	日本水難救済会第3回理事会(書面決議)



青い羽根募金関連報告

青い羽根募金・支援自販機寄付金額

令和3年2月末現在

年度	内訳	青い羽根募金額推移	支援自販機寄附金額推移	青い羽根総募金額
平成26年度		2,193,435	2,594,541	4,787,976
平成27年度		2,422,687	2,781,646	5,204,333
平成28年度		2,476,083	3,020,352	5,496,435
平成29年度		2,553,257	3,315,343	5,868,600
平成30年度		2,496,194	3,220,884	5,717,078
令和元年度		2,931,109	3,560,876	6,491,985
令和2年度		2,533,726	2,869,252	5,402,978

日本水難救済会会長表彰(予定)

敬称略・順不同

福岡県
福岡県警察本部
宗像市
陸上自衛隊福岡駐屯地
航空自衛隊築城基地
若築建設株式会社九州支店

福岡県水難救済会会長表彰(予定)

敬称略・順不同

筑紫野市
大野城市
添田町
陸上自衛隊小倉駐屯地
航空自衛隊芦屋基地
航空自衛隊春日基地
陸上自衛隊小郡駐屯地
陸上自衛隊久留米駐屯地
陸上自衛隊幹部候補生学校
久留米広域消防本部
一般財団法人 福岡県消防協会



いつも、募金へのご協力、
誠にありがとうございます。

日本水難救済会会長表彰 贈呈団体様(順不同)



福岡県 様



福岡県警察本部 様



北九州市 様



糸島市 様



陸上自衛隊福岡駐屯地 様



航空自衛隊築城基地 様



株式会社道の駅むなかた 様



宗像漁業協同組合 様



北九州エターミナル株式会社 様

福岡県水難救済会会長表彰 贈呈団体様(順不同)



陸上自衛隊久留米駐屯地 様



陸上自衛隊幹部候補生学校 様



添田町 様



航空自衛隊春日基地 様



筑紫野市 様



大野城市 様

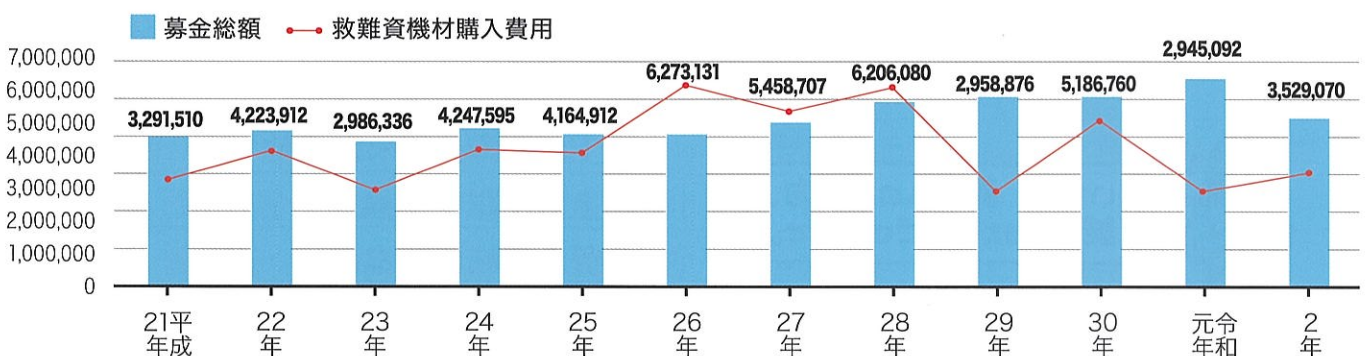


久留米広域消防本部 様



公益財団法人福岡県消防協会 様

救難資機材購入費の推移



救難資器材整備

品名	数	対象救難所
作業服(上下)	7	岐志新町、他3救難所
作業服(下)	4	相島、津屋崎救難所
作業帽	6	岐志新町、他3救難所
双眼鏡 ニコン7-50MS	2	地島救難所
強力ライト AL450WN	39	姫島、他8救難所
投光器(サーチライト)	7	相島、他4救難所
キャップライト SHL-12P	42	岐志新町、姫島救難所
救命胴衣(NS-7000)	75	大川、他6救難所
救命胴衣(固定式)	27	志賀島、宇島救難所
携帯用拡声器	1	深江救難所
救命浮環(名前入り)	3	宇島救難所
ナイロンロープ	5	苅田、他4救難所
救急セット	6	地島、築上町救難所
泡消火器(本体)SF-10P	1	志賀島救難所
毛布	2	西浦救難所
担架	1	西浦救難所
テント	1	苅田救難所
使い捨てAEDパッド	2	
AEDバッテリーパック	1	
救助船ステッカー	5	奈多、他4救難所
救難所看板	12	志賀島、他11救難所
通信用無線電話機	10	姫島、福吉救難所
自動体外式除細動器(AED)	1	深江救難所
携帯用発電機	8	宇島、他5救難所
救助船	5	奈多、他4救難所



支援自販機・青い羽根募金箱設置協力先紹介のお願い。

当救済会では(公社)日本水難救済会指導のもと、青い羽根募金運動を行っているところであり、その一環として青い羽根募金支援自販機(売上の一部を寄附金にあてていただく)設置拡大に努めているところです。

令和2年2月末現在、県内に38台を設置し、海難救助活動を側面から支えていただいています。

支援自販機設置拡大に関し、より一層のご協力をお願いします。

設置先
ご紹介ください



現在、支援自販機37台、
青い羽根募金箱11個、
設置のご協力を
いただいています。
2021年2月末現在



支援自販機設置協力先

- | | |
|--|--|
| <p>11. 県議会棟 待合室</p> <p>12. 福岡市消防局</p> <p>13. 鐘の岬活魚センター</p> <p>14. ホテル・ザ・ルイガンズ</p> <p>15. 日鉄ビジネスサービス八幡(株)</p> <p>16. 豊築漁協椎田町支所</p> <p>17. 豊築漁協椎田町宇留津</p> <p>18. 日本コークス工業株式会社</p> <p>19. 白島国家石油備蓄基地事務所</p> <p>20. 大和漁業協同組合</p> <p>21. 岐志観光休憩所</p> <p>22. 大野島漁業協同組合</p> | <p>23. 福岡マリーナ</p> <p>24. 新宮町バス待合所</p> <p>25. 若築建設(株)資料館前</p> <p>26. うみんぐ大島</p> <p>27. 岐志新町漁港</p> <p>28. 神湊市岩渡船ターミナル</p> <p>29. 道の駅みやま</p> <p>30. 脇田漁港フィッシャリーナ</p> <p>31. 相島漁協</p> <p>32. 大島漁協</p> <p>33. 七管北九州航空基地</p> <p>34~38 若築建設(短期設置)</p> |
|--|--|

新規設置



青い羽根募金箱設置協力先

- 1 オルゴールミュージアム門司港
- 2 若築建設九州支店
- 3 鶴丸海運(株)
- 4 北九州空港(北九州エアターミナル)
- 5 相島救難所
- 6 糸島漁協船越支所
- 7 福岡県民火災共済生活協同組合
- 8 船越救難所
- 9・10 藍島救難所(2ヶ所)
- 11 七管北九州航空基地

海難事故防止への協力をお願い



海に出る時は、**要事前**天候報確認

遠方の台風も波に影響を及ぼすため、天気予報などを必ず確認して事前準備、強風・高波の時は海に出ず**スケジュール変更**を行いましょう。



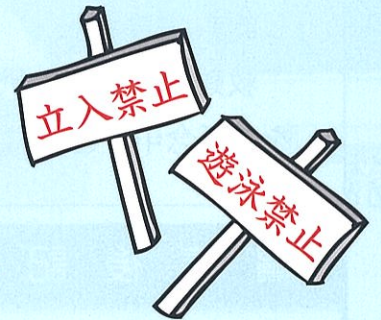
事故時の**救命策確保**

ライフジャケットの常時着用は法律で定められています。海に出る時は、家族や身近な人に伝えてみましょう。連絡手段確保のため、スマートフォンは防水パックに入れ、GPS機能をオンしておきましょう。

禁止されていることには理由がある

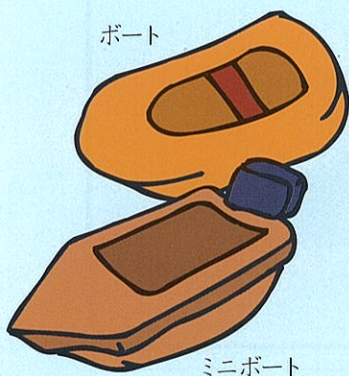
過去に海難事故で被害に遭った人がいる場所を示しています。自分は大丈夫という過信が、**救助に向かう人の命をも危険に晒します。**

遊泳禁止ヶ所では、離岸流・土用波・インショアホールの危険があります。
※離岸流:局所的に起きる沖方向へ向かう強い波の流れ。 ※土用波:晩夏に発生する大波。
※インショアホール:浅瀬にできる、畏の様な穴。



体調管理・注意事項再確認は**必須事項**

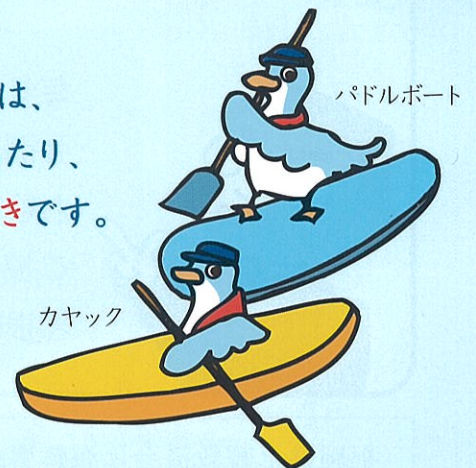
飲酒・体調不良・睡眠不足の時に無理して海にはでない、自身の体力を**過信しない**でください。マリンレジャーに挑戦する際は事前注意事項を必ず**確認**、危険海洋生物の**把握**を行ってください。



ボート

ミニボート

人気のミニボート・パドルボートなどでの釣りは、波の高さや風向きによっては陸に戻れなくなったり、転覆の恐れがあったり、沖での利用には**不向き**です。また天候に関わらず漁船など大型船からの視界に入りにくいいため、事故に遭うリスクも高く、利用ルールは**厳守**しましょう。



パドルボート

カヤック

事故時・緊急時は、海上保安庁・消防・警察へ

海上保安庁 **118** 消防 **119** 警察 **110**
番へ 番へ 番へ

「ご挨拶」

県内43ヶ所の救難所員の皆様におかれましては、本業の傍ら日夜、水難救助活動にご尽力をいただいていることに対し、心から敬意を表します。

また、福岡県をはじめ、多くの団体、関係者の皆様のご支援に、そして海難救助訓練等にご指導をいただいている第七管区海上保安本部の皆様には感謝を申し上げます。

本会では、「青い羽根募金」に多大なご協力をいただき、これを活動資金として毎年、救命胴衣、救命浮輪、ロープ、投光器などの購入や自動体外式除細動器の配備に活用し、海難救助出動を行う救難所の救助用資器材整備を図っています。

公益社団法人日本水難救済会主唱のもと実施している「青い羽根募金」は、活動開始から70年となりますが、今後とも積極的に取り組みを行い、福岡県沿岸における水難救済事業を推進し、救難所員の皆様が活動しやすい環境づくりに努めて参りますのでよろしくお願い致します。

救難所員をはじめ、関係機関、賛助会員の皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人
福岡県水難救済会
会長 今林 久

編集後記

救難所において例年実施されている人命救助訓練もコロナ禍のため自粛となる中、青い羽根募金はこれまで同様の多くの方のご協力をいただきました。改めてお礼を申し上げます。（事務局）



毎年、7月1日～8月31日を「青い羽根募金 強調運動期間」と定め、募金への協力をお願いしています。

ご協力いただいた方へお礼に、「青い羽根(写真参照)」をお渡ししています。



福岡県水難救済会は海難事故に遭った方々の救助を行うボランティア活動を支えるための団体です



公益社団法人
福岡県水難救済会

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7-3F(福岡県防災危機管理局内)

TEL:092-631-1416(直通) FAX:092-402-9955 Mail info@mr-fukuoka.or.jp Web <https://mr-fukuoka.or.jp>

